

福知山環境会議幹事会議事録

第10回（令和2年1月28日（火））

出席者：田倉代表、土田副代表、芦田、土田（崇）、中尾、田村、大槻
井上副代表、井上事務局長、小牧、岩木、梅田

●報告事項

（1）各プロジェクトの活動報告について

・由良川・里山プロジェクト

（土田崇）1月16日（日）午前中のみ実施した。市民の参加者が1名あった。明智藪の中に入っていく道の整備を行い、見に来られた観光客も写真を撮るなどしていた。（土田真）国交省の会議に出席し、明智藪の整備について話してきた。明智藪に来られる観光客に対応するため、看板や柵などを設置できないか確認中。一度、関係者（国交省、福知山環境会議、秘書広報課、産業観光課、文化・スポーツ振興課、用地課）会議を2月6日（木）に開く予定である。

・サケの飼育と採捕・放流プロジェクト

1月5日（日）に綾部の中丹広域振興局で行われた、由良川サケ環境保全実行委員会が主催の「サケ卵の仕分けと配布」に参加した。福知山市内の学校や公民館、科学館などに配布した。また、環境パークでサケの稚魚の飼育コーナーを設置。環境パークでは200個の卵に挑戦し、196個が孵化している。サケ稚魚放流会は3月7日（土）午前10時から開催予定で場所は未定である。

また、中丹支援学校から出張授業の依頼があり、生徒向けにサケの生態について紙芝居をする予定。

・ゴーヤ先生による広報活動プロジェクト

12月28日（土）に京都セレクトッド学園（KSG）令和元年終業式（in ホテル平安の森京都）へ対応、1月3日（金）11時から御霊神社で初詣を行い、その後交流会を実施した。1月10日（金）に福知山市の「ふくふくフォト応援事業」にモデルとして協力し、その後談話室でゴーヤ先生宛の年賀状を報道機関向けに紹介した。4社（毎日、読売、朝日、両丹）が取材に来られ、来年も本庁でお披露目会を実施したと考えている。1月11日（土）にあいち・なごや生物多様性 EXPO に参加。1月12（日）には四日市市出初式に参加した。

年賀状について、最終的には200枚ほど届き、すべてに返事を書く予定である。

福知山お城まつりが2020年4月11日（土）～4月12日（日）に開催されることが決定した。ゴーヤ先生活動開始から10周年を迎えるため、記念のイベントとする予定にしているので、協力をお願いしたい。

- ・福知山グリーン生活情報マップ作成活動プロジェクト

1月21日(火)に産業観光課及び京都府地球温暖化防止センター主催のクールチョイスワークショップが環境パーク2階で行われ、その中でエシカル商品やエシカル消費について、パンフレットを用いて説明した。

- 協議事項

- ・広報の方法について(芦田さんより提案)

この前の幹事会以降、各イベントのチラシを市内のカフェや施設に配布し、店の入り口等、市民の目につくところに置いてもらえるよう依頼をしてきた。その中で、福知山環境会議という団体が知られていないことがとてもショックだった。これからもチラシ等を配る場所を増やして、市民の方が参加したいと思える糸口になるようにしていきたい。また、幹事会を意見が言い合える場にしてもらいたい。

(その他意見等)

- ・広報の方法で、紙媒体そして電子媒体の両方があり、それをどちらも活用していくことについては賛成である。

- ・ホームページについては、過去から掲載や修正するところがあれば原稿や意見をくださいとお願いしてきたが、何も依頼がない。活用できていない。

- ・環境基本計画の見直しの時期にもきており。

- ・基本計画も含め、幹事会で意見を言い合うべきではないのか。

- ・幹事会では時間の問題もあり、難しいと思う。

- ・一年間のプロジェクトの見直しを環境会議ではしていない。活動の中での問題点があると思うが、それを幹事会で話し合っていくのがよいのではないか。

- ・広報について、今のホームページをどう活用していくか。また、新しい広報の仕方があれば考えていければと思うが。

- ・ホームページを見たが、内容が分かりづらかった。

- ・ホームページはどのようにも変えていけるので、どうしたいかを教えてほしい。

- ・イベントをしないプロジェクトについては、広報の仕方が難しく大変だ。

- ・報告だけでもよい。「こんな活動をしました」や「こんなキーワードを入れてほしい」など、少しのことでホームページは良くなっていく。検索にも引かかってくる。

- ・ホームページを見ても、福知山環境会議がどんな会なのかわからなかった。プロジェクトやイベントは載っているが、そもそもどんな方針で目的は何なのかが分からないと新しく参加したいとは思わないのではないか。みんなで話し合いたい。

- ・広報の内容もお互いメリットがなければ、新規参加は難しい。環境の取り組みは地味であり、やりたがらない人が多いと思う。メリットが分かりやすい広報の仕方を考えるべきかなと思う。

- ・福知山環境会議がどんな会なのか市民の人に聞かれても、ホームページを見てわからないので、伝えづらい。
- ・会議の中にたたき台として、ある程度まとめたものを作りそれに対して意見を出していくというのが必要になる。今のホームページを各自で確認し、次の幹事会で具体的な意見を述べていくというのでどうか。
- ・広報については手間やコストがかかる。なるべく、簡単にしていくことが必要であると思う。報告書や広報文を作っても、内容が同じようなものであれば、報告書が広報になったものを最初から作ったらどうか。

●今後の行事について

- 2/10（月）生ごみ堆肥化教室（13:00～15:00）環境パーク
- 2/16（日）由良川竹林整備（9:00～15:00）明智藪
- 3/7（土）サケ稚魚の放流会（10:00～）場所未定

●その他

- ・意見等があれば事務局まで御連絡をお願いいたします。
- ・手元に福知山環境会議の活動に関する領収書等をお持ちであれば、事務局まで御提出のほどよろしくをお願いいたします。

●依頼

- ・2月18日（火）までに、ホームページについて意見があれば、事務局まで連絡をお願いします。また、広報の方法について、何かアイデア等ご意見があれば合わせて連絡をお願いいたします。

●次回幹事会開催予定日

2月25日（火）午後6時30分から
環境パーク リサイクルプラザ2階 会議室

